

足下の主な状況・対応

- 安定供給に課題があると判断された**115品目の全て**について、**解決済み**
※「目詰まり解消の仕組み」により、相談があれば速やかに対応している品目を含む。
- 目詰まり解消の仕組みにより、相談があった医療機関・薬局等の供給不足の解消を促進
 - ①メーカーによる**優先供給** ➡ **分包紙**：相談があった**全て（400）の薬局等薬剤容器**：相談があった**ほぼ全て（628）の薬局等の供給不足を解消**。
※代替品で対応しているものも含む。全体の供給量は昨年同量並みに回復済。
「目詰まり解消の仕組み」を活用し、随時対応中。
 - ②**「販売可能な通販サイト」リスト**の提供 ➡ 相談があった **全て（932）の医療機関の供給不足を解消**
- 医療用手袋**：備蓄手袋の**配布対象医療機関等の数は下降傾向**で、**不足感は緩和傾向**。
- 手袋類、分包紙・薬剤容器の相談件数の減少を受けて、**相談件数総数も平均して1日数件の状況が継続**。

相談総数

14,685事業者（メーカー・卸業者：3,816、医療機関等：10,869）

※メーカー・卸業者への一斉調査（回答：5,629）や相談窓口を通じ情報提供等を受け付けた中から相談を受けたものを対象としている。
※事業者数は延べ数であり、同一の事業者から複数の調査・窓口等で相談を受け付けた場合は、それぞれ事業者数を計上している。
※医療機関等からの相談（10,869事業者）のうち、定点観測：98事業者、医療機関等からの情報提供：10,771事業者

（前回（8月24日時点）との差：+41事業者（メーカー・卸業者：+8、医療機関等：+33））

対応状況



品目単位で精査

※例えば約5,400の医療機関等から相談のあった同種の手袋の供給に関するものは1つの品目とカウントするなど、品目単位で精査の上、その品目数を計上。

		品目数	（前回（8/24時点）との差）
①安定供給に影響があると判断された品目		115	-
うち	②対応検討中の品目	0	-
	③解決済みの品目（「目詰まり解消の仕組み」により、相談があれば速やかに供給不足に対応している品目※を含む）	115	+13

※ 医療用手袋（ニトリル・PVC）、分包紙、薬剤容器等

石油関連製品の供給不足に伴う医療分野の影響・対応について②（9月30日時点）

解決済みの品目

※解決済み品目は累計

※下線部：新たに解決済みとなった品目

- ・小児カテーテルの滅菌用のA重油
- ・効率的に薬剤投与が行える注射器のシリンジ（筒の部分）の滅菌用のA重油
- ・心臓を補助する特殊なカテーテルの滅菌用ガス
- ・医療機器の滅菌等の酸化工チレンガス
- ・医療機関（12機関）における滅菌等に必要なA重油*
- ・医療機関で用いる消毒液（イソプロパノール）
- ・人工透析用の血液浄化器（ダイアライザー）の製造用溶剤
- ・人工透析用の注射針の滅菌用ガス
- ・献血バッグの製造用溶剤
- ・採血管をまとめる袋
- ・血液検査分析装置の洗浄剤
- ・鼻炎治療薬等の製造設備用のA重油
- ・消毒液（エタノール）の容器（2件）
- ・歯科用注射針のコーティング剤
- ・透析装置洗浄剤の容器
- ・透析チューブ
- ・心電図用電極ゲルの包装資材
- ・人工心肺装置に装着する人工肺等の洗浄剤
- ・手術用縫合糸の洗浄剤
- ・手術用メスの洗浄剤
- ・解熱鎮痛薬等の製造用溶剤
- ・手術用器械等の医療機器を製造する際に必要な潤滑油*
- ・非臨床試験施設の機材滅菌用等のA重油
- ・製薬工場等の稼働に必要なA重油（6件）
- ・錠剤製造の滅菌工程に必要なボイラー用灯油
- ・体外式膜型人工肺（ECMO）の洗浄剤
- ・血管内治療器具の誘導用ワイヤーの洗浄剤
- ・消毒液（ポビドンヨード等）の容器
- ・検査用スライドグラス・カバーガラスの印字用塗料
- ・AED（自動体外式除細動器）等のインク等溶剤（2件）
- ・カテーテルの潤滑剤
- ・歯鏡の曇り止め用溶剤
- ・医療用漢方製剤等の製造に必要な有機溶剤（メタノール）
- ・錠剤包装シート（PTPシート）
- ・歯科用器械の部品加工のための潤滑油等*
- ・皮膚保護用フィルムの製造用溶剤
- ・気管切開チューブの部品製造用及び包装用溶剤
- ・医薬品の容器キャップ
- ・留置針等の洗浄剤
- ・内視鏡処置具の洗浄剤、潤滑油
- ・電動手術台の塗装用溶剤（シンナー）
- ・医療用粘着テープの製造用溶剤
- ・血液検査用試験管等の原料
- ・外科手術用ドリルバーを加工するための潤滑油等
- ・歯科用ダイヤモンドバーを加工するための摺動油
- ・血液検査装置の試験管を研磨するための潤滑油*
- ・歯科用椅子等の塗装用溶剤（シンナー）
- ・検査用スポイトの先端の原料
- ・医療用脱脂綿、コットンボールの梱包材
- ・血液検査の試薬
- ・X線フィルタリング装置の洗浄剤
- ・医療用プリンターのインクリボンの製造用溶剤
- ・分娩監視装置の外装カバー材
- ・血液検査用試験管の原材料
- ・保育器等の塗装用溶剤（シンナー）、部材
- ・伸縮包帯等の原材料
- ・歯科治療用セメントの原材料
- ・冠動脈バルーンカテーテルのマーカ印字用溶剤
- ・外用薬の容器等
- ・注射薬瓶用の容器キャップ
- ・検体検査機器の試薬ボトルの原材料
- ・手術用メッシュ素材の洗浄剤
- ・検査機器の部品を加工するための潤滑油
- ・内視鏡洗浄機器の消毒薬等の原材料
- ・検査用スライドグラスの保護ケースの原材料
- ・病理検体作製用機器のメンテナンスに使用する潤滑油
- ・検査用スポイト等の原材料
- ・カテーテル等の梱包用資材
- ・医療用ゴム部品を成形するための油圧油
- ・内視鏡検査用マウスピースの原材料
- ・廃液容器の原材料
- ・病理検体の染色に必要なキシレン
- ・吸引チューブ
- ・病理検体を保存するための中性緩衝ホルマリン
- ・呼吸器の加湿装置
- ・尿道カテーテル（2件）
- ・吸入器のアダプタ
- ・フェイスシールド
- ・診察台等の原材料
- ・病院等の寝具類の洗濯に使用するボイラー用A重油*
- ・眼内レンズ、レンズ挿入機器
- ・注射針のコーティング剤
- ・頸椎牽引装置の塗装用溶剤等
- ・リハビリ用機器の部品
- ・血液検査機器の配管接続部の原材料
- ・歯科用器具を製造する機械のメンテナンスに使用する潤滑油*
- ・歯科用ユニット等の塗装用溶剤
- ・眼科、外科用メスを成形するための油圧*
- ・その他（医療機器等の原材料等）（6件）

・医療用手袋（ニトリル・PVC）** 分包紙** 薬剤容器** ・アイソレーションガウン** ・紙エプロン**

・サージカルマスク** ・注射器** ・翼付き注射針等** ・輸液セット** ・滅菌バッグ等** ・歯科用注射針**

・針捨てボックス**

* 印：直接販売スキームの活用により解決済みとなった品目

** 印：「目詰まり解消の仕組み」の構築により解決済みとなった品目

「目詰まり解消の仕組み」による対応

メーカーは昨年同量並みの製造を行っている一方、多くの医療機関・薬局から供給不安の相談があった品目については、「目詰まり解消の仕組み」を構築し、複数の医療機関・薬局の供給不足を品目単位でまとめて改善。

仕組み①：メーカーによる優先供給の仕組み（分包紙、薬剤容器）

- ・薬局・医療機関、メーカー・卸業者あて、当面の必要量に見合う量のみ発注・受注する等、適切な対応を通知（5/29）
- ・サプライチェーンの遡り調査により、供給元のメーカーを特定した上で、当該メーカーに、相談を寄せた医療機関等の情報を伝達し、優先的な供給を要請する仕組みを構築。

⇒ 分包紙（6/9開始）：供給不安の相談があった400の薬局等のうち、全ての薬局等（8/19時点との差：+27）について供給不足が解消（9/30時点）

⇒ 薬剤容器（6/18開始）：供給不安の相談があった634の薬局等のうち、628の薬局等（8/19時点との差：+106）について供給不足が解消（9/30時点）
※代替品で対応しているものも含む。「目詰まり解消の仕組み」を活用し、随時対応中。

仕組み②：「販売可能な通販サイト」リストの提供（アイソレーションガウン、紙エプロン、サージカルマスク等）

※アイソレーションガウン
（イメージ）



- ・サプライチェーンの遡り調査により、主要な製造業者において例年並みの製造を確認。
- ・一方で、確保に支障がある医療機関等があることから、経産省と連携し、関係団体及び主要通販事業者と調整の上、代替品を含め、販売可能な通販サイトをリスト化。
- ・供給不安のあった医療機関等に対して、「販売可能な通販サイト」リストを提供し、目詰まり解消を推進。

① アイソレーションガウン、紙エプロン、サージカルマスク（7/2開始）

⇒供給不安の相談があった 421の医療機関の供給不足が解消※

② 注射器、翼付き注射針等、輸液セット、滅菌バッグ等、歯科用注射針、針捨てボックス（7/8開始）

⇒供給不安の相談があった 511の医療機関の供給不足が解消※

※ 7/1時点で相談のあった医療機関にリストを提供し、供給状況に変化が見られない場合は7/13までに厚労省宛に連絡を求めたところ、その後医療機関からの連絡はなかった。

中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄の放出

現在の対応・状況

- ニーズに応じた備蓄放出を行っているが、医療用手袋の要請件数及び配布対象医療機関等の数は下降傾向であり、不足感は緩和傾向。

これまでの取組状況

- 国で備蓄している医療用手袋（ニトリル・PVC）について、確保が困難となっている医療機関等向けにまず**5,000万枚を放出することとし**、5/18（月）より医療機関等からの要請受付を開始。

（参考）国では備蓄水準を超える量（余剰分）を約4億9千万枚確保。

（参考）5,000万枚の内訳

S：1,500万枚 M：2,500万枚 L：1,000万枚

- サイズ別の購入実績では、約6割がSサイズだったため、今後の需要にも十分応えられるよう、**6/22（月）より、追加分のSサイズ2,000万枚を順次放出**。

- 要請件数が週100件程度に落ち着いてきたことを踏まえ、医療用手袋の不足感は緩和傾向にあると判断。**10月6日より**、G-MISを通じた要請方式から、**販売企業から直接購入できる方式に移行し**、さらに、**配布対象施設や配布枚数等の要件を撤廃**する。

※要請件数がゼロではないことも踏まえ、引き続き要請窓口の設置は継続。

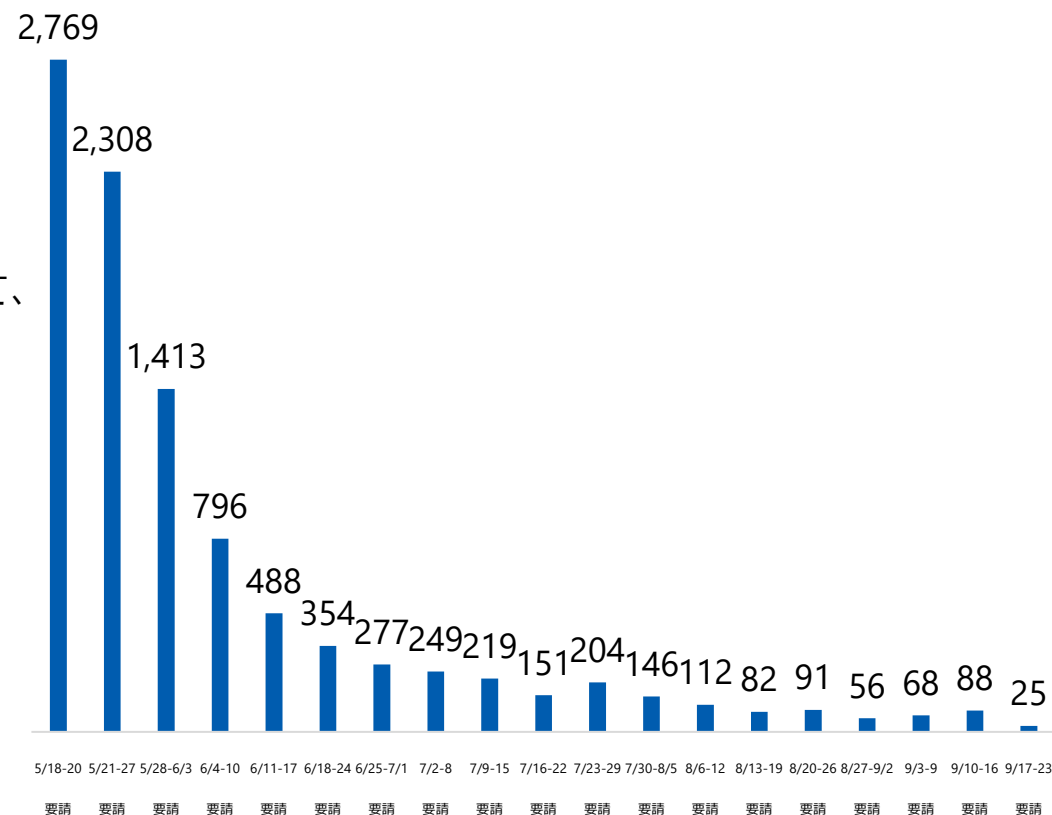
配布対象数・購入数

- 配布対象（※1） 9,896医療機関等 最大**約4,256万枚**（※2）（9/24（木）時点）
購入 5,238医療機関等 **約2,631万枚**（9/24（木）時点）

（※1）医療機関等からの要請のうち、都道府県・国の確認が終わり、配布対象となったもの。

（※2）医療機関等ごとに、想定消費量に応じて購入可能数の上限があるところ、上限未満で購入する場合が想定されるため。

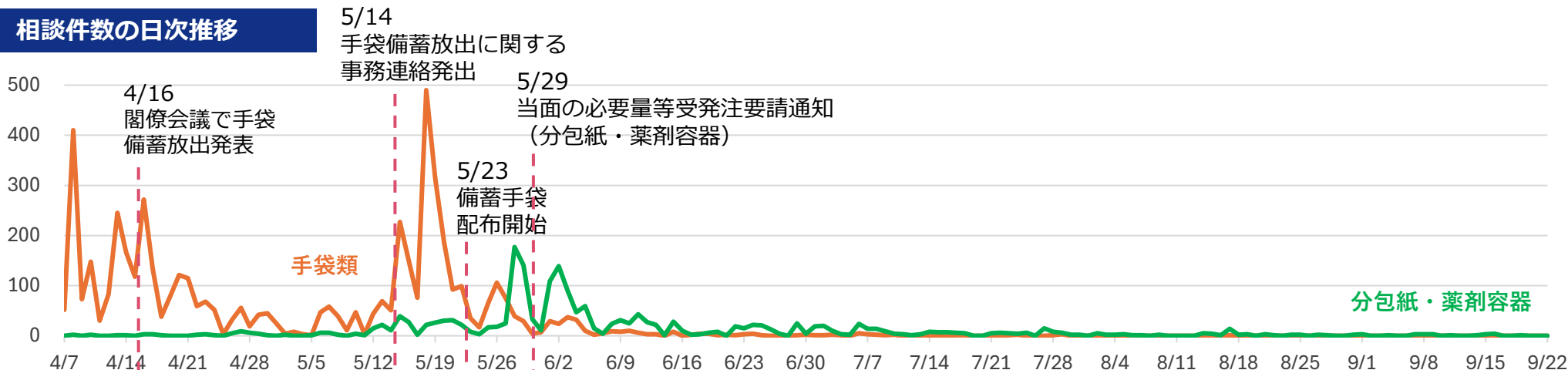
【配布対象医療機関等数】



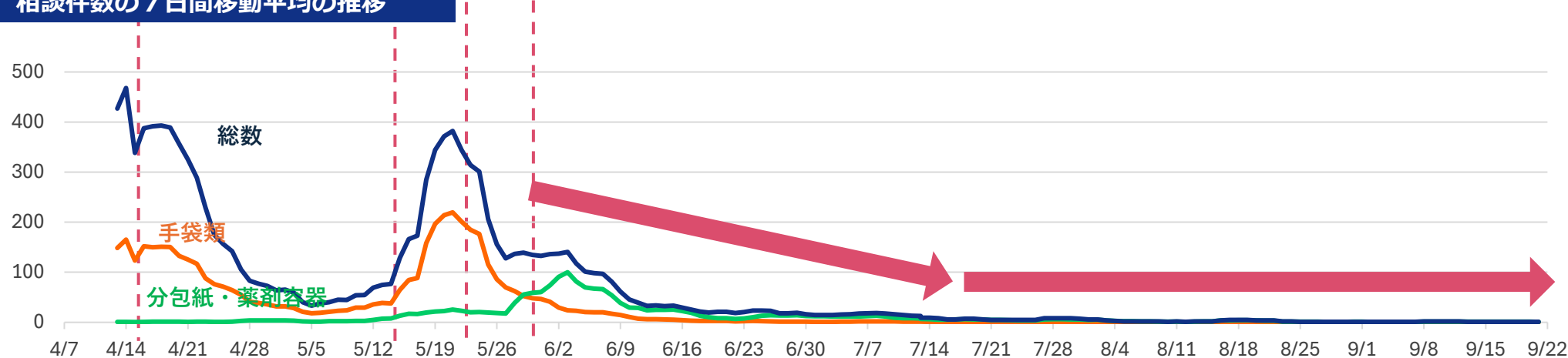
医療分野における相談件数の推移

- 手袋類の相談件数は、備蓄手袋の配布開始（5/23）以降、減少傾向。
- 分包紙・薬剤容器の相談件数は、「当面の必要量に見合う量のみの受発注」を要請する通知の発出（5/29）以降、減少傾向。
- 手袋類、分包紙・薬剤容器の相談件数の減少傾向を受けて、相談件数総数も平均して1日数件の状況が継続。

相談件数の日次推移



相談件数の7日間移動平均の推移



※「分包紙・薬剤容器」の件数全体のうち、薬剤容器が約6割、分包紙が約3割であり、その他の約1割には、分包紙への印字に用いるインク・リボン等が含まれる。

注1) 分析ツールは「Copilot」等を活用。分析対象は、厚生労働省にEMIS、G-MIS（Forms）、メール窓口経由で寄せられている相談案件をとりまとめたもの（4/7～9/22）。AIを活用した分析であるため、実際の相談内容とはずれが生じる。

注2) 同一医療機関から複数の分類・品目の報告があった場合は原則として分類・品目ごとにカウントしている。